

令和5年度 教科担任制の取組

大竹市立大竹小学校

本校の体制

3教科型 6年生での交換授業

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道德	総合	学活	外国語
週時数	4	1	3	5	3	1.4	1.4	1.6	2.6	1	2	1	2
6年1組 (担任：A)	A	A	C	A	推進	専科	B	B	A	A	A	A	A
6年2組 (担任：B)	B	A	C	B	推進	専科	B	B	B	B	B	B	A
6年3組 (担任：C)	C	A	C	C	推進	専科	B	B	C	C	C	C	A

成果 ①授業の質の向上

一人一人の担当する教科数が少ないことで、
教材研究の時間の確保ができる。

- ・ 様々な子供の反応を想定した授業の組み立てを行う。
- ・ 1回目で難しかったところ
↓
2, 3回目と改善が可能

成果 ②多面的な児童の理解

一人一人の顔と名前、様子が分かる。
担任では気付けない子供の様子の把握

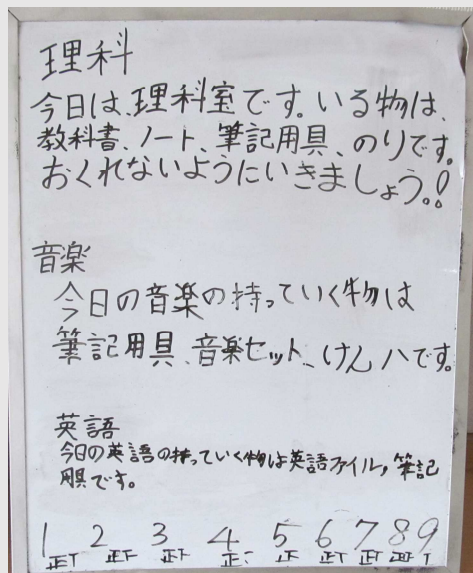


学年で共有，対応

最近気になるな・・・とちょっとした変化に気付いた
時に、他の授業での様子を聞くことができる。
やはり！となれば、対応を学年で考えることができる。

成果 ③小・中学校の円滑な接続

子供が様々な先生による指導を経験できる。



教科担任制への慣れ

次回の教室や
準備物等が
分かる掲示板

成果 ④教師の負担軽減

1人の担当する教科が減る。

- ◎教材の作成
- ◎すぐに授業改善

担当している授業の教材研究に時間を充てられる。

- ・ 複数の見本の作成
準備片付けの時間の短縮



成果 ⑤その他（学校全体の取組）

- ・ 学校のルールが書いてある冊子（竹小ナビ）を活用することで、大竹小学校のルールを共有する。
- ・ ノート指導も学校で共通にしている。
左側に縦線を引く
めあては赤で囲む
まとめは青で囲むなど

決まりに沿って、全教員が指導することで、教科担任制になっても児童が困らない。

課題

- ①週案作成の時間の確保が難しい。
- ②学級閉鎖で授業時数を補う場合の時間の調節が難しい。